

前回部会における委員の主な御意見

5月15日（木）の第1回環境審議会資源循環部会における各委員からの御意見は下記のとおり
（資料の質問に対する事務局説明等は割愛）【五十音順】。

1 濃沼委員

○意見 1

目標の1人1日あたりのごみ排出量は、「何gまで減らす」よりも「1割減らす」といった表現の方が市民はイメージしやすい。

○意見 2

災害が起きた際には廃棄物が多量に出てくるので全国レベルでの対応とともに、国への提言も必要である。

2 篠倉委員

○意見 1

ごみ減量に頑張っている人はこれ以上何を減らせばよいのか、ごみ減量に取り組んでいない人こそ変わる必要があると感じている。

○意見 2

ごみ減量を進めるうえで設定した目標に具体的な施策が結びつくとよい。

○意見 3

世界観のイメージだが、エシカル消費が麻生区だけの取組に見えたり、DXもイメージがつきにくい。表現の工夫ができると良い。

3 高橋委員

○意見 1

小売店等でもごみ分別ボックスが設置されるようになり分別が街に浸透してきていると感じる一方、集積所では分別ができていない人に対して張り紙などで注意喚起を促す状況があるため、引き続き分別の必要性を広報で伝えていくことが大事である。また、若者に届く分別の広報を検討してほしい。

○意見 2

高齢化が進む中で一時多量ごみやふれあい収集の制度をわかりやすく周知することが大事である。

4 寺園部会長

○意見 1

再生品や再生材をメインに使うことが大事であり、環境部局だけでなく庁内全体に広げて欲しい。

○意見 2

1人1日あたりのごみ排出量の目標1割削減はイメージ図や写真があると良い。昔に比べてリサイクル意識が高まりごみ減量は着実に進んでいることから、これ以上減らすためには、より一層、市民の協力を得ながら進めるのが大事である。

○意見 3

市が保有する焼却施設の処理能力は一定必要と考えるが、災害廃棄物を想定して現状の3つの焼却施設を維持するのは現実的でない。人口減少や持続性を考えると2つに検討することは妥当で、災害廃棄物は広域的な対応や民間の産業廃棄物処理施設の活用も行いながら処理するものである。災害廃棄物に関する自治体の悩みを国に対しても共有して検討を進めると良い。

○意見 4

分別や排出の状況がよくないところに対して、今後は何らかのペナルティが求められるかもしれない。

○意見 5

循環経済に移行するためには上流側から変わっていかねばいけない。出てきたごみをどうするかではなく、どういう必要なもので我々は生活するのかというところを考えなければいけないと思う。

○意見 6

全国的に増えている高齢化への対策は福祉系の部局と連携して取組を進めてもらいたい。

5 徳野委員

○意見 1

川崎市の強みであるケミカルやマテリアルのリサイクルが進んでいることを知らない人が多いため、情報発信の充実は大事である。

○意見 2

ジモティスポットを利用したが活気があり素晴らしい取組だと感じた。ジモティスポットなどの取組をもっと拡大して欲しい。

6 藤倉委員

○意見 1

再生した後のものの消費ルートを作ることは大事であり、低炭素商品や再生品を優先購入するよう全庁的に強く伝えて欲しい。計画に位置づけることで所管の担当者が変わっても取組が継続するような仕掛けを考えるとよい。

○意見 2

一般廃棄物の目標値は、家庭系と事業系の両方が含まれているため、指標などで内訳を示し、市民の方に家庭から出ている分を認識してもらうことも大事である。

○意見 3

最近では断捨離が流行っているが、不要な物を買わないことをコラムなどで伝えていくとよい。

○意見 4

循環経済の指標として市がグリーン購入 100%を目指すなどもある。神奈川県のリサイクル製品認定の普及に向けて川崎市でも認定品を積極的に購入する等といった姿勢があってもよい。

○意見 5

グリーン購入は基本施策Ⅲのごみの減量化に加えて、基本施策Ⅰの循環経済にも資する取組である。

7 宮脇副部長

○意見 1

製造事業者などの排出者が資源化の検討の際にどこに相談を持ち込めばよいのか悩む場面もあるため、市で資源化できる民間事業者を紹介が出来るのかを含めた検討が必要である。

○意見 2

目標値はかなり厳しいことをしっかりと認識して進める必要がある。頑張っている中で更に協力度を上げるのは簡単ではない。

8 森川委員

○意見 1

プラスチックの分別率を上げるためには、分別率が悪い場所を把握していく必要がある。分別が出来ていない建物の大家に市は収集しませんと伝えるなど、負担の公平性からも強制力が一定必要だと考える。

9 渡辺委員

○意見 1

循環型社会の移行には、行政指導等の半強制的な部分がないと難しいのではと考える。産廃業界でも協力したいという思いはあるが何をすれば良いか分からない部分もあるため取り組みづらいつと感じる。